

保証書付

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。
必ずご記入をお受けください。

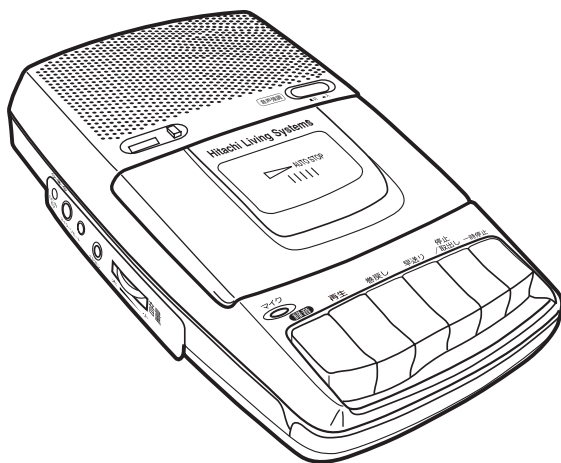
カセットテープレコーダー

HTR-1形

このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

本機を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。

This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.



目次

はじめに	安全上のご注意.....	2
	各部のなまえ.....	7
準備	電源と接続について.....	8
	テープを聞く.....	9

録音	録音する.....	11
	参考	
参考	お手入れ.....	13
	故障かな?と思ったら.....	14
	仕様.....	14
	日立家電品についてのご相談や修理は お買い上げの販売店へ.....	15
	保証とサービス.....	裏表紙

安全上のご注意

■ 絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例



△の記号は「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。



⊘の記号は「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。



⓪の記号は「しなければならない行為」を示します。

お願い

「安全上のご注意」のイラストと本機とでは若干形状等が異なることがあります。ご了承ください。

警告

万一、異常や故障が発生したときはすぐに使用をやめてください

次のようなときは、そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

- 煙が出ている、変なにおいや音がする(異常状態)
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対おやめください。
- 本機の内部に水などが入った
- 異物が本機の内部に入った
- 音が出ないなど(故障状態)
- 落としたり、キャビネットを破損した



ACアダプター
をコンセント
から抜いて



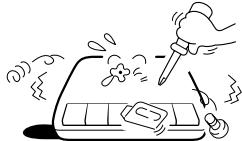
警告

■ 分解しない

本機を分解、改造しないでください。火災、感電の原因となります。内部の点検、調節、修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



分解禁止



■ ACアダプターのコードを傷つけない

無理な使いかたをするとコードが破損しますので、次のようなことはしないでください。

- コードの上に重いものを乗せる。
- 途中でつぎ足したりして加工する。
- 無理に折り曲げる。
- 傷をつける。
- ねじったり、引っ張ったりする。
- 熱器具に近づける。



禁止



ACアダプターのコードが傷んだときは、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■ 本機の上に水などの入った容器を置かない

内部に水などが入った場合、火災、感電の原因となります。



禁止

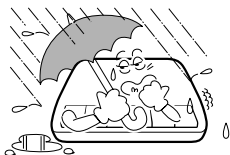


■ ぬらさない

- 本機をぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。
- 風呂場、水辺、雨天の中などでは使用しないでください



水ぬれ禁止



■ ACアダプター接続時の注意

次のことをお守りください。誤った使いかたをすると発熱などにより、火災の原因となります。

- ACアダプターはコンセントへ確実に接続する。コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
- コードは束ねたまま使用しない。
- たこ足配線はしない。



■ 異物を入れない

通風孔、カセット挿入口などから、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。(特に小さなお子さまにご注意ください。) 火災、感電の原因となります。



禁止



■ 差し込み部分は定期的に点検を

定期的にACアダプターを抜いて、プラグとコンセントの間に付着したほこり、よごれなどを取り除いてください。ほこりにより、ショートや発熱が起こって火災の原因となります。



警告

■壁にぴったりつけない

本機の設置は、壁から10 cm以上の間隔をあけてください。また、他の機器との間は少し離してください。ラックなどに入れるときは、本機の天面および背面からそれぞれ10 cm以上のすきまをあけてください。すきまがないと、内部に熱がこもり火災の原因となります。



禁止



■通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。本機の後部や底部などに通風孔があり、次のような使いかたはしないでください。

- 本機をあお向けや横倒し、逆さまにする。
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に置く。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置く。



禁止

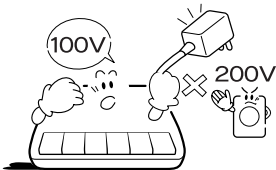


■電源電圧100 V以外で使用しない

表示された電源電圧(AC 100 V)以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。



禁止

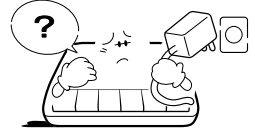


■国外では使用しない

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.



禁止



■乾電池は充電しない

電池の破裂、液漏れにより火災・けがの原因となります。



禁止

■種類の異なる(たとえばアルカリ乾電池とマンガン乾電池)や新旧の電池を一緒に混ぜて使わない

電池の破裂、液漏れにより火災・けがの原因となります。



禁止

■風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など、湿度の高いところや水の跳ねる場所で使用しないでください。



水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。

■ACアダプターを抜くときの注意



ぬれ手禁止

- ぬれた手でACアダプターをさわらないでください。感電の原因となることがあります。
- ACアダプターを抜くときは、ACアダプター本体を持って抜いてください。コードを引っばるとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

■設置場所に注意



- 湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないください。火災、感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

禁止

■不安定な場所に置かない



不安定な場所、棚などに置かないください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

■本機の上に重いものを置かない



バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

禁止

■持ち運びの注意



ACアダプターをコンセントから抜く

カセットを取り出してください。電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜き、外部の接続コードをはずしたことを確認のうえ、おこなってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

■カセット挿入口に手を入れない



けがの原因となることがあります。(特に小さなお子さまにご注意ください。)

指をはさまれないよう注意

■イヤホンの音量に注意



音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■クレジットカードなどをスピーカーに近づけない



禁止

本機のスピーカーには強力な磁石を使用していますので、時計、クレジットカード、磁気定期券、カセットテープ、ビデオテープなどは、スピーカーのそばに置かないください。データが壊れて使用できなくなることがあります。

■長期間使用しない場合やお手入れの際の注意



ACアダプターをコンセントから抜く

安全のためACアダプターをコンセントから抜いてください。

■内部の掃除について



内部の掃除については、お買い上げの販売店にご相談ください。内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。

■乾電池使用上の注意



乾電池の使いかたを誤ると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。次のことをお守りください。

- 単3形乾電池以外は使用しない。
- 極性(⊕と⊖)に注意し、表示通りに入れる。
- 種類の異なるものや、新旧の電池を混ぜて使わない。
- 電池を充電、加熱、分解したり、火や水の中に投入しない。ショートさせない。



禁止



- 長期間(1ヵ月以上)使用しないときは、電池を取り出しておく。

もし、液もれが起こったときは、電池ケースについた液をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

⚠ 注意

音のエチケット



楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、イヤホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

大切な録音や再生は事前に確認を

大切な録音や再生の場合は、正常に録音や再生ができることを確認してください。

著作権について

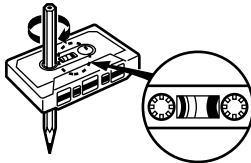
- 放送やCD、レコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従ってそれらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、及び営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）におたずねください。（JASRAC 本部：TEL. 03-3481-2121）

カセットテープについて

ノーマルテープ（TYPE 1）をご使用ください。ハイポジションテープ（TYPE 2）やメタルテープ（TYPE 4）は使用しないでください。

- エンドレステープは使用できません。
- 100分以上の長時間テープは大変薄く、伸びやすいため、機械に巻き込むおそれがありますので、使用しないでください。
- カセットテープの両端のリーダーテープ部分（半透明の部分）は録音できません。録音の前にはこの部分を送ってから使用してください。

テープがたるんでいるときは、鉛筆などでたるみをとってから使ってください。

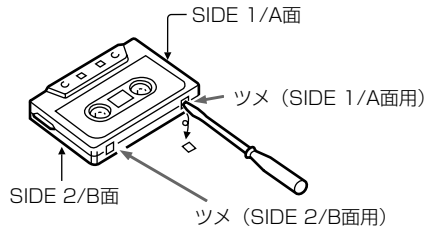


次のような場所には保管しないでください。

- ほこりの多いところ。
- 磁気の発生するところ。
- 高温や湿度の多いところ。

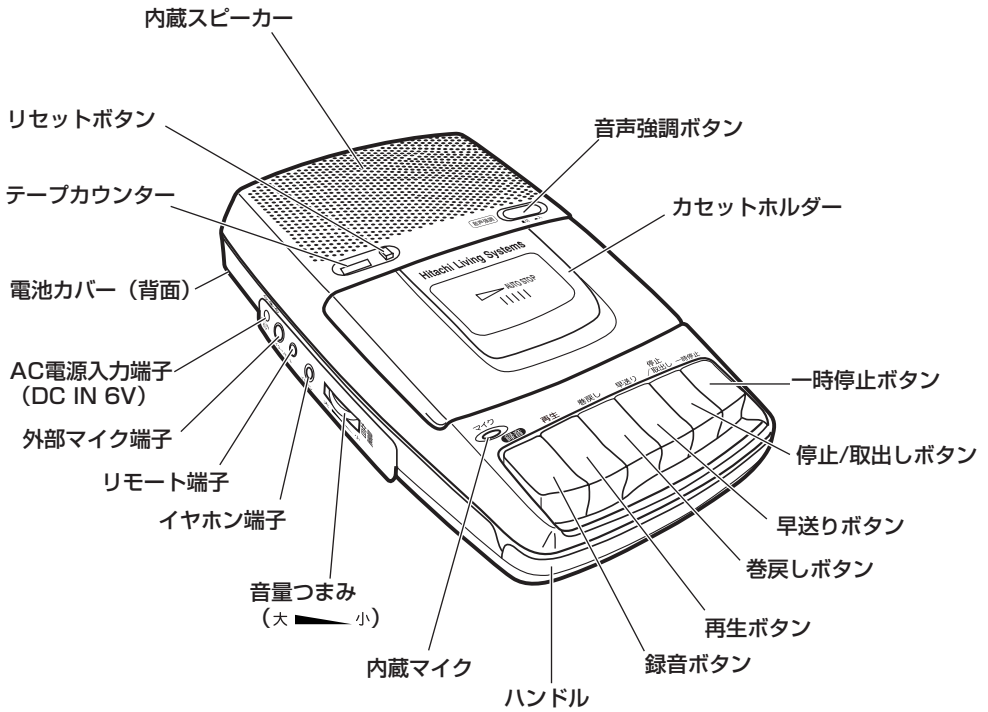
大切な録音を消さないために

カセットテープの後ろ側にあるツメをドライバーなどで折れば誤消去の防止になります。



誤ってツメを折ったり、再び録音したいときは、セロハンテープなどで穴をふさいでください。

各部のなまえ



付属品

ACアダプター

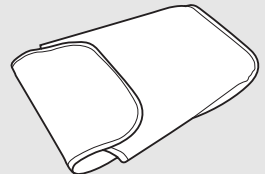


(乾電池は付属していません)

イヤホン



ソフトケース



電源と接続について

■電源

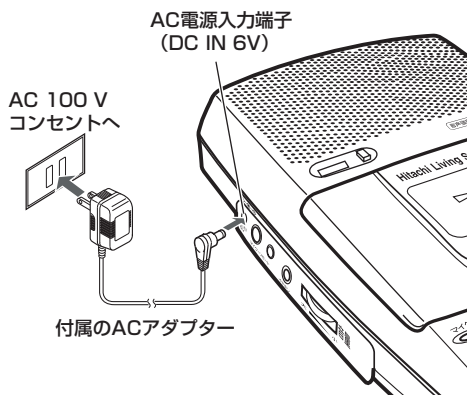
このカセットテープレコーダーは、AC電源と乾電池の両方で動作します。

■AC電源

本体側面にあるAC電源入力端子（DC IN 6V）へ付属のACアダプターのプラグを入れて、ACアダプター本体側のプラグをAC100Vコンセントに差し込んでください。

注意

1. 付属のACアダプター以外は、本体にダメージを与える恐れがありますので使用しないでください。また、ACアダプターを使うときは、乾電池を本体から取り出してください。
2. 本体を外に持ち出すときや長期間使わないときは、ACアダプターのプラグを必ず抜いてください。
3. ACアダプターを抜き差しするときは、本機が動作していない状態で行ってください。



■乾電池

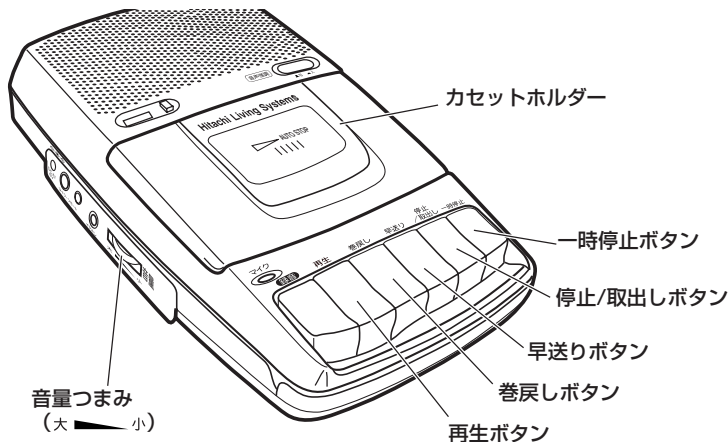
- 本体背面の電池ふたを開け、別売の単3形乾電池4本を極性（⊖と⊕）を間違えないよう図に示す番号順に入れます。
- ACアダプターのプラグがAC電源入力端子（DC IN 6V）に接続されていると、乾電池では動作しません。



注意

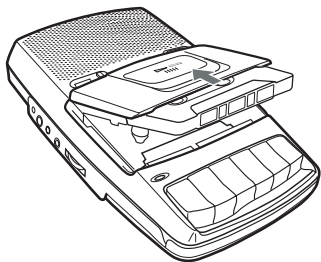
1. 長期間（1ヶ月以上）使用しない場合やAC電源で使用する場合は、乾電池を取り出しておいてください。
2. 乾電池が消耗してくると次のような現象を生じます。
 - ・音が小さい、ひずむ。
 - ・テープ速度が遅くなる。
3. 乾電池はときどき休ませた方が長く使えます。
4. 大切な録音や再生をするときは、あらかじめ新しい乾電池に交換するかAC電源の使用をおすすめします。

テープを聞く



1 「停止/取出し (□/△)」 ボタンを押して、カセットホルダーを開ける

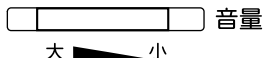
2 カセットテープをカセットホルダーにセットする



3 カセットホルダーを閉める
カチッと音がするまで確実に閉めてください。

4 「再生 (<<)」 ボタンを押す
再生が始まります。

5 「音量」 つまみで、音量を調節する



ちょっとこれを！

オートストップ機能について

- 再生・録音中にテープが全部巻き取られると、自動的にボタンが復帰して停止します。ただし、電池容量が少ない場合、自動的にボタンが復帰しないことがあります。

テープの再生を停止する

「停止/取出し (□/△)」 ボタンを押す

- テープを取り出すときは、「停止/取出し(□/△)」ボタンをもう一度押します。

一時停止

再生または録音中に「一時停止 (⏸)」 ボタンを押す

- もう一度押すと、再生または録音が始まります。

早送り、巻戻し

停止中に「早送り (<<)」または「巻戻し (>>)」 ボタンを押す

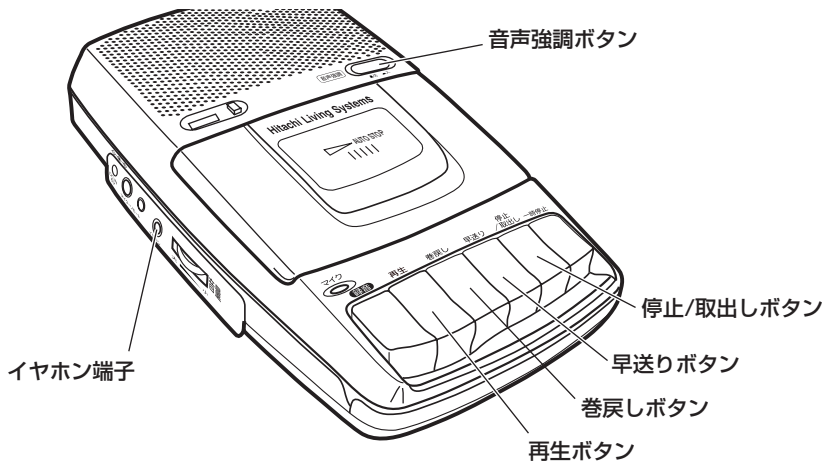
- 希望のところにきたら、「停止/取出し(□/△)」ボタンを押します。



ちょっとこれを！

- 早送り、巻戻し中にテープが全部巻き取られてもオートストップ機能は働きません。早送り、巻戻しが終わったら停止ボタンを押してボタンを復帰させてください。

テープを聞く (つづき)



キュー、レビュー機能

再生中に「早送り (<<)」または「巻戻し (>>)」ボタンを押し続ける

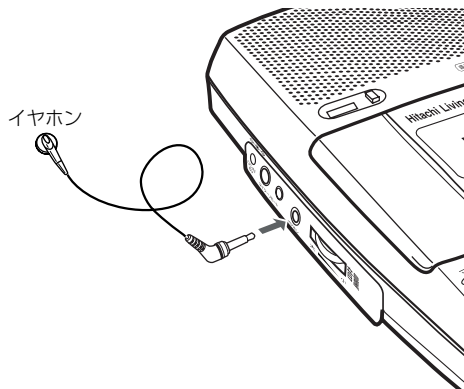
- 希望のところにきたら、ボタンを離す。通常の再生に戻ります。

音声強調機能について

再生時に「音声強調」ボタンを押すと、音声強調機能が働きます。小さい音を強調して、はっきりと聞き取りやすい音になります。

イヤホンを使う場合

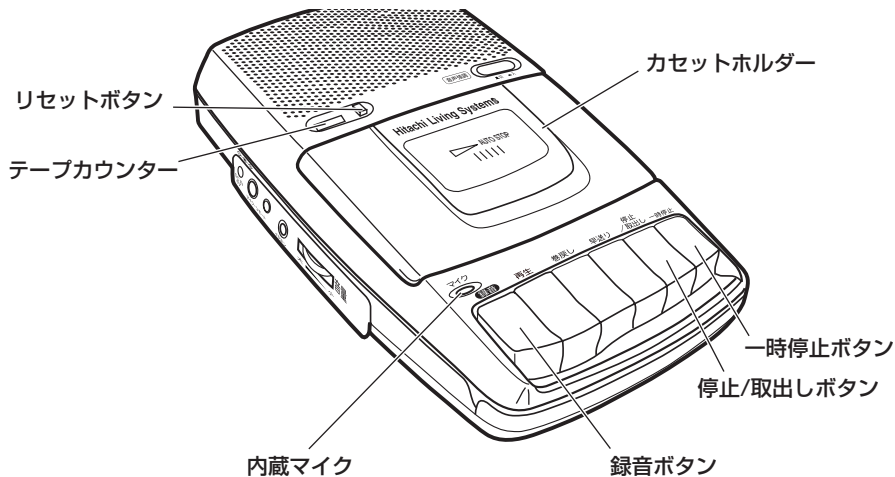
イヤホンのプラグをイヤホン端子に接続します。イヤホンを接続すると、スピーカーからの音は出なくなります。



ちょっとこれを！

- リモート付きマイク（別売）をお使いの場合、リモートマイクのスイッチを一時停止側になっている場合は、再生が停止します。その場合は、反対側にスイッチを切り替えると再生を始めます。

録音する



1 「停止/取出し (□/△)」 ボタンを押して、カセットホルダーを開け、テープを入れる

- 録音する面を下側にして入れます。

2 カセットホルダーを閉める

- 録音を始めるテープ位置で停止させておきます。

3 リセットボタンを押す

- テープカウンターの表示が「000」になります。

4 「録音 (○)」 ボタンを押す

「再生 (<)」 ボタンも同時にさがり、録音が始まります。

- テープが終端になると、自動的にテープの録音を停止します。

テープの録音を停止する

「停止/取出し (□/△)」 ボタンを押す

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの場合は、著作権上、権利者に無断で使用できません。



ちょっとこれを！

オートレベルコントロール録音について

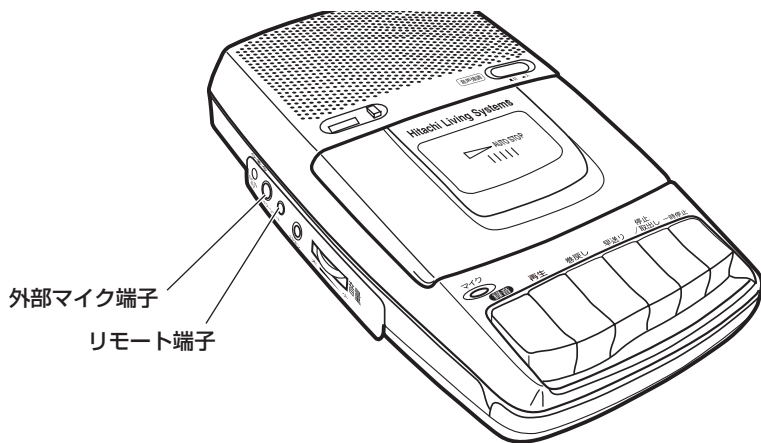
ALC (Automatic Level Control) 回路によって、録音レベルが自動的に調整されます。



ちょっとこれを！

- 「録音 (○)」 ボタンを押すと同時に「再生 (<)」 ボタンがさがるため重く感じるがありますが、故障ではありません。

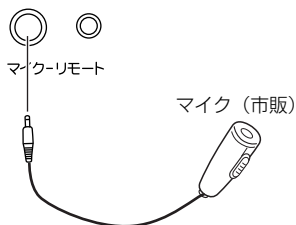
録音する (つづき)



外部マイクを使う場合

マイクのプラグをマイク端子に接続して、マイクのスイッチをオンにします。

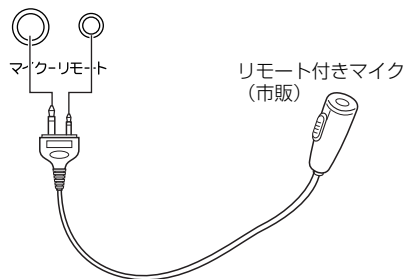
- 外部マイクは付属していません。
市販の3.5φミニプラグ インピーダンス2kΩ以上をご使用ください。



リモート付きマイクを使う場合

リモート付きマイクを使用すると、マイクのスイッチで録音の一時停止、録音再開をコントロールできます。

- リモート付きマイクは付属していません。
形状の合うマイク (マイク端子3.5φ・リモート端子2.5φ) をご使用ください。



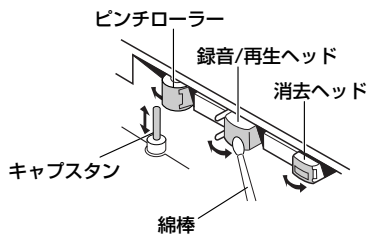
お手入れ

テープヘッド部の清掃

テープを再生または録音すると・・・

- 音が悪い
- きれいに録音できない
- 前の音が残っている
- テープが巻きつく

などの症状がでた場合、その多くはヘッドやピンチローラーおよびキャプスタンの汚れが原因となっていますので、市販のクリーニングキット(またはクリーニングテープ)をお買い求めのうえ、ヘッド部分を清掃してください。清掃はできるだけ早め(約10時間程度使用ごと)におこなってください。



「停止/取出し(□/△)」ボタンを押してカセットホルダーを開け、図に示す□部分(録音/再生ヘッド)をふいてください。

- 長い間使っていると、ヘッドが磁化されて雑音が入ったり、音質が悪くなったりします。このようなときは、市販の消磁器でヘッドを消磁してください。

本体のお手入れ

柔らかい布で汚れを軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

- ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。また、キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度次の項目をお確かめください。

故障？	原因	処置
音がでない	<ul style="list-style-type: none"> ● ACアダプターのプラグがはずれている ● 乾電池の向きが正しくない ● 乾電池が消耗している ● ボリュームが下がっている ● イヤホンが差し込まれている 	<ul style="list-style-type: none"> ● プラグを確実に差し込む ● 正しく入れなおす ● 新しい乾電池にとりかえる ● 音量つまみを調節する ● イヤホンをはずす
カセットが入らない カセットホルダーが開まらない	<ul style="list-style-type: none"> ● カセットの向きが逆さまになっている 	<ul style="list-style-type: none"> ● カセットテープの見える面を手前に入れて入れる
テープが走行しない	<ul style="list-style-type: none"> ● カセットテープの不良 ● 「一時停止 (⏸)」ボタンを押していません ● 乾電池が消耗している ● テープがたるんでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ● カセットテープをとりにかえる ● 「一時停止 (⏸)」ボタンを押して戻してください ● 新しい乾電池にとりにかえる ● 鉛筆などで巻いてたるみをとる
録音できない	<ul style="list-style-type: none"> ● ツメの折れたカセットを装着している 	<ul style="list-style-type: none"> ● カセットテープをとりにかえる
音がとぎれる、音程が狂う 消去が不完全	<ul style="list-style-type: none"> ● ヘッド部が汚れている ● ハイポジションやメタルテープを使っている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 清掃する ● ノーマルテープを使用する

仕様 HTR-1

テープレコーダー部	
トラック方式	2トラック、1チャンネル
モーター	電子ガバナーDCモーター
ヘッド	マグネット消去 交流バイアス記録
巻き戻し時間	約180秒(60分テープ)
マイク部	
マイク	全方向指向性マイク

電池持続時間は、電池の種類・メーカー・保管状態・使用条件・使用周囲温度などによって変わります。記載されている時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。

共通部	
スピーカー	6cm×1(4Ω)
出力	500mW(JEITA/DC)
出力端子	イヤホン3.5φミニ
入力端子	インピーダンス8~16Ω 外部マイク3.5φミニ プラグ
電源	インパワー対応 インピーダンス2kΩ以上 外部電源(付属ACアダプター 100V、50/60Hz) DC6V 単3形アルカリ乾電池(LR6)4個 (別売)6V
消費電力	4W
外形寸法	131(幅)×53(高さ)×204(奥行)mm
質量	約426g(乾電池含まず)
電池持続時間	テープ再生時(JEITA)約12時間
アルカリ乾電池(LR6)×4本使用時	テープ録音時約15時間

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに
関するご相談は

TEL 0120-3121-68

FAX 0120-3121-87

商品情報やお取り扱いに
ついてのご相談は

TEL 0120-8802-28

FAX 03-3260-9739

*フリーダイヤルされますと、お客様の地域を担当するセンターへおつなぎします。

愛情点検

長年ご使用の家電品の点検を！



このような症状は
ありませんか

- ACアダプターやコードが異常に熱い
- コゲくさい臭いがする
- コードに深いキズや変形がある
- その他の異常、故障がある

故障や事故防止のため、コンセントからACアダプターを抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

また商品の色調は、印刷のため異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

カセットテープレコーダー保証書

持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。

お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

形名	HTR-1	※ お 買 い 上 げ 日	保 証 期 間
		平 成 年 月 日	本 体 : 1 年
※お客様	ご 住 所	〒 -	様
	ご 芳 名		
※販売店	住 所 名	〒 -	
	店 名	TEL	

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有償修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 - (ニ) 車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
 - (ホ) 一般家庭用以外（例えば業務用）に使用されて生じた故障または損傷。
 - (ヘ) 消耗品を取り替える場合。
 - (ト) 本書のご提示がない場合。
 - (チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記載がない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- この商品について出張修理をご希望する場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には別紙のご相談窓口一覧表をご覧ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または15ページ記載のご相談窓口にお問合せください。
- 保証期間経過後の修理によって使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
- このカセットテープレコーダーの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後6年です。
- 補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理メモ

株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29(アクロポリス東京)

TEL.03(3260)9611

FAX.03(3260)9739